

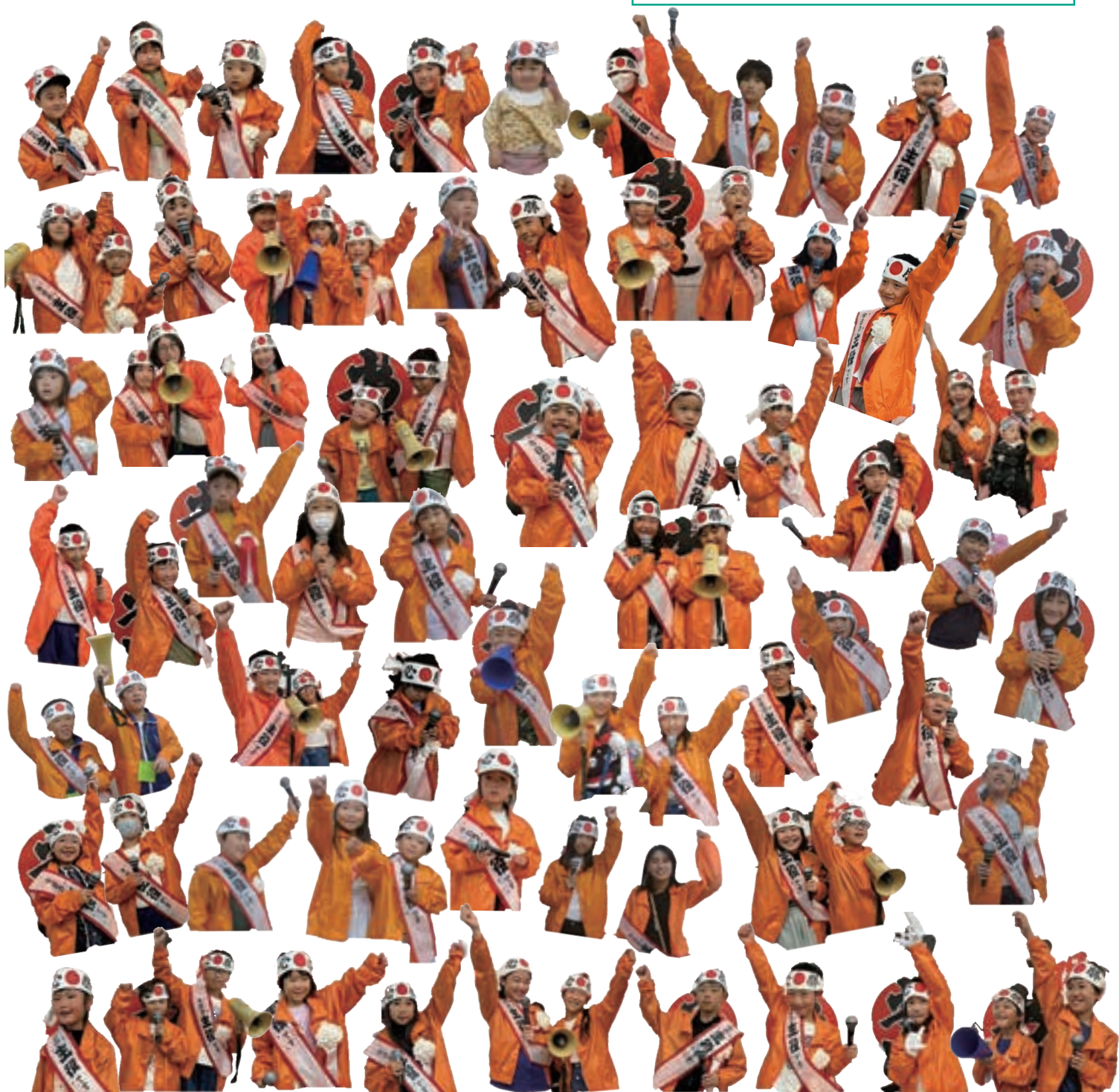
# 議会のトビラ

議会報告会・懇談会を開催

産業フェア 議会ブース大盛況 (詳しくは2ページへ)  
～当選議員になりきって はいポーズ!～

TOPICS

常任委員会報告  
議員一般質問



# あなたの身近に！ 可見市議会

議会の活動を広く知ってもらおうとともに、住みよいまちにするために多様な意見を聴く活動をしています。今回は、産業フェアでの交流や各常任委員会で行われた議会報告会・懇談会の様子をお伝えします。



## 産業フェアで市民と交流（10/26）

産業フェアin可見2024に議会のブースを出展しました。「議員と語ろう」コーナーでは生活道路の問題などの身近な困りごとや、市ホームページを見やすくしてほしいなどの市に望むことをお聴きすることができました。

また、288人の方にアンケートにご協力いただき、議会から市長へ行った予算に関する提言の中で関心があるものや、求められる議会活動についてご意見をいただきました。

今後も色々な場所に出かけて、皆さんの声をお聴きしていきます！



「議員と語ろう」コーナー

## 総務企画委員会 議会報告会 - 地域防災力向上のために - (11/10)



総務企画委員会は、「地域防災力の向上」をテーマに議会報告会を開催し、自治連合会長や防災士の方など27人に参加いただきました。

行政と地域とが連携した防災対策が必要な中、地域防災力の強化に向けて、防災訓練の実施状況や防災士の方に期待される役割など、現状と課題を共有しました。

報告書掲載ページはこちら⇒



防災士が地域で活躍するためには「顔が見える関係づくり」が第一歩！

### グループに分かれて課題を整理



いざという時に地域で連携できるような訓練を！



防災士のスキルが災害時に地域で生かされるよう「自治会と防災士との継続的な連携」や「防災士の組織化」、「市の支援のあり方」について調査研究していきます！



## 建設市民委員会 議会報告会 -公共交通を考える- (10/21・11/8)

建設市民委員会は、「公共交通について市民の方が思うこと」をテーマに、兼山地区と桜ヶ丘地区で議会報告会を開催しました。

それぞれの地域の特性もありますが、病院や買い物に行く目的で公共交通を利用することがほとんどなので、それに対応したアクセスやダイヤの改善を検討してほしいという意見を共通して多くいただきました。

報告書掲載ページはこちら⇒



兼山地区の皆さんと

バスの本数を増やして利便性向上を！

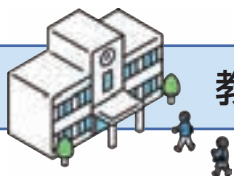
コミュニティバスの利用方法を知らない人も多い。ぜひ周知を！



市の公共交通施策に対し、議会として意見を取りまとめ提出できるように、意見交換や先進地への視察など調査研究を続けます！



桜ヶ丘地区の皆さんと



## 教育福祉委員会 教育委員と懇談 -不登校支援は- (10/25)



それぞれが思う課題を共有

教育福祉委員会は、学校の現状と課題を把握するために、教育委員との懇談会を毎年実施しています。

大規模校・小規模校など地域での違いがある中、各学校の特色を生かした教育が実践されていることを改めて確認できました。

不登校支援についても話し合い、「校内教育支援センター」など子どもたちの多様な居場所づくりを進めていく必要性を再認識しました。

みんなの「笑顔の“もと”」を育む取組みを！



不登校が低年齢化傾向にあること、校内教育支援センターの人員確保や保護者への情報提供の充実など、不登校支援の課題について調査研究していきます！



市の不登校支援リーフレット(抜粋)

# 常任委員会報告

第5回定例会での審査内容など主な委員会活動を紹介します

## 予算決算委員会

令和6年度一般会計補正予算2件について審査しました。

やすらぎの森ローラー滑り台の改修(補正額3500万円)

暴風雨による倒木で破損した可児やすらぎの森公園内のローラー滑り台を改修するための予算補正です。

**Q** 破損部分のみを今回修理するのか。また令和7年度のいつ頃に完了する予定か。

**A** 部分補修も技術的には可能だが、このローラー滑り台は当初から受注生産で、既存のものとの接続は安全上の課題があるため、踊り場から下の部分を全て改修する。

また、本体自体の製作に約4カ月かかるため、令和7年の夏前までに使用できるよう進めていく。



市内外で人気のローラー滑り台

避難所への災害用備品の整備(補正額1900万円)

能登半島地震の被災地への職員派遣から得た知見を基に、災害対応時に必要となる備品(フィルム圧着式トイレ、個室テント、組み立て式給水タンクなど)を指定避難所に配備するための予算補正です。

**Q** 市町村の避難所設置基準を国の基準に見直していく動きがあるが、本市はどうか。

**A** 県の地域防災計画が令和7年度当初にかけて見直される。県の改定内容を確認し、市の地域防災計画を改定する中で、国の避難所設置基準に合わせるのか等についても検討していく。

救護所用の災害資機材の整備(補正額560万円)

大規模災害時に救護所を市内病院に設置する際に必要な資機材(貯蔵用倉庫、投光器、折り畳み式ベッドなど)を整備するための予算補正です。

**Q** 医療救護体制構築の経緯は。

**A** 令和5年度から可児医師会、病院、診療所と救護所の設置の仕方や運営方法を協議してきた。トリアージなどを行う救護所・救護病院(3病院)、重症者の治療を行う災害拠点病院(2病院)、

軽症者の応急処置を行う災害支援医療機関(5診療所)といった医療救護体制が整ったため、必要備品等を購入する。

## 総務企画委員会

条例の一部改正3件について審査しました。今回は、所管事項に関する委員会質疑を紹介します。

### 委員会質疑

#### 可児駅前の防犯対策を

**Q** この度、防犯カメラが可児駅前に5基、隣接する公園に1基設置されたが、今後の防犯対策はどのように行うのか。

**A** 可児駅前、見守り活動等により以前の平穏を取り戻しつつある。今後は防犯カメラも活用しながら、引き続き警察署や地域の方々と連携して、治安確保のための活動を継続していく。

## Q 今後の防犯カメラの設置予定と運用は。

A 令和6年度中に可児駅周辺以外の2駅と3公園に、12台追加設置する予定である。

カメラの画像は防災安全課と施設を管理する所管課とで定期的に確認できる体制をとり、法令に基づき警察署から依頼があれば、提供していくこととなる。

## 建設市民委員会

今回付託された議案はありませんでした。委員会質疑と執行部からの報告事項を紹介します。

### 委員会質疑 電話で予約バスの 利便性向上へ

Q 桜ヶ丘地区での議会報告会で「電話で予約バス」が地区センター停留所までしか来ず不便との声があったが、改善策は。

A さつきバスの6停留所を、

日曜・祝日に電話で予約バスでも使用できるよう運行事業者と協議している。現在、コミュニティバスの停留所増設に必要な手続きの準備を進めており、令和6年度中には運行を開始したい。

### 報告事項

#### 子どもの読書活動 さらなる推進を

Q 新たに策定する「子どもの読書活動推進計画（第5次）」の中で、特に力を入れていく点として電子書籍の導入・デジタル化の推進が挙げられているが、具体的な内容は。

A 令和11年度までの計画期間中に、様々な方に利用いただける電子書籍、いわゆる「電子図書館」の導入を目指していく。学校とも協力して教材として使える本や子ども向けの本はもちろん、小説・雑誌などの各種分野の本を約3000冊導入予定で、導入後も増やしていきたい。

## 教育福祉委員会

条例の一部改正1件、その他2件（財産の取得、指定管理者の指定）について審査しました。

### 国民健康保険条例の改正

保険税収入の減少や将来的な県内の保険税水準の統一化に対応するため、保険税額等を改める改正をするものです。

#### Q 保険税収入の減少要因は。

A 団塊の世代の方が後期高齢者医療制度に移行したことや、社会保険の適用範囲の拡大により国保被保険者数が減少していることが主な要因である。今後適用範囲が拡大されれば、保険税収入のさらなる減少につながる可能性がある。

#### Q 今回の保険税額改定による影響は。また、将来的に保険税

水準を県内で統一することの

だが、今後の予定は。

A 令和6年度賦課状況と同じ条件とした場合、年間1人当たり約1万6000円の増となるが、増加額は世帯により異なる。市の国保運営協議会において、令和11年度までに県が示す標準保険税率に合わせるよう答申が出ている。令和7年、令和9年、令和11年と段階的に税率を上げていく予定である。

#### ◆◆討論の内容◆◆

反対 質上げの動きはあるものの、その恩恵がまだ浸透して

いない中で、市民生活に大きな負担をかけることになるため、保険税額の引き上げを行う本条例の一部改正には反対。

委員会審査の様子はYouTubeでも見られます



## 主な委員会活動 ～調査研究をすすめています～



### 総務企画委員会 公民連携の農機シェアリングサービスの事例を研修



国内農機メーカーとして幅広いサービスを手掛ける株式会社クボタの方を講師に迎え、同社の農機シェアリングサービスについて、オンラインで研修しました。

農業機械の購入や維持管理費が高額な中、24時間365日使えて保管場所も必要ないなど、このサービスが新規就農や農業の継続に一役買っている現状を知りました。

一方、水稻に関する機械が貸出対象ではないため、有効な手段となるかなど、本市の実情を踏まえて調査研究を重ねていきます。

### 建設市民委員会 各務原市のAIを活用したデマンド交通を視察

AIを活用したデマンド交通や庁内各課・民間企業と連携した事業展開をしている各務原市を視察しました。

企業スポンサー制度による運行経費の補完や、市民との対話による定期的な要望把握、AIを活用した乗降データに基づくダイヤ改正など、参考となる取組みが多くありました。

本市においてもすぐに取り組めるもの、今後の計画の中で推進していくべきものなど、公共交通の利用促進、改善に向けて市に提言できるよう取り組んでいきます。



### 教育福祉委員会 岐阜市立方県小学校のイェナプラン教育を視察



自律・共生・創造を育むイェナプラン教育を取り入れた学習を進めている岐阜市立方県小学校を視察しました。

みんなが同じように言われたとおりの学習ではなく、友達同士や異学年で学び合うこと、子どもを信頼して行事を任せることなどを通して、「個人の尊重」「多様性を認めること」「自身で決定すること」を学んでいました。

本市でも大切にしている理念と共通する点が多くあるため、さらなる学校教育の充実に生かせることはないか、調査研究をしていきます。

# 第5回定例会 提出された議案と審議結果 可決

提出された議案（予算3件、条例4件、契約1件、その他2件 合計10件）と、議会運営委員会の提案（発委2件）は、すべて原案のとおり可決されました。

## 【全会一致で可決された議案】

番号	件名
79	令和6年度一般会計補正予算（第4号）
81	請負契約の変更（可児御嵩インターチェンジ工業団地（第二工区）造成その2工事）
82	財産の取得（教育用Microsoft365ライセンス）
83	指定管理者の指定（福祉センター）
84	令和6年度一般会計補正予算（第5号）

番号	件名
85	市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正
86	常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正
87	職員の給与支給に関する条例の一部改正
88	令和6年度一般会計補正予算（第6号）
2	市議会委員会条例の一部改正
3	市議会会議規則の一部改正

## 【賛否が分かれた議案】

番号	件名	田上元一	前川一平	酒向さやか	田口豊和	松尾和樹	奥村新五	大平伸二	渡辺仁美	高木将延	板津博之	伊藤壽	天羽良明	澤野伸	山田喜弘	酒井正司	野呂和久	川合敏己	川上文浩	伊藤健二	富田牧子	亀谷光	林則夫
80	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（澤野 伸）は採決に加わらない。  
 ※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

## ピックアップ議案

提出された議案は所管の委員会に付託されるなどして、本会議で最終的に可否が決定されます。  
 今回ピックアップする議案はこちら！



### 議案第79号 一般会計補正予算（第4号）

子宮頸がんワクチンの接種費用や、ふるさと応援寄附金の増に伴う返礼品費等の増額、市運動公園（坂戸）の人工芝整備を前倒して令和6年度に着手するための工事費の追加などをするための予算補正です（18億3300万円）。

### 議案第82号 教育用Microsoft365ライセンスの取得

GIGAスクール構想第2期として、令和7年度における1人1台タブレット端末の更新に向けて、教職員用のオフィスソフト等のライセンス650本を5年分調達するものです。教職員分を調達することで、学生特典として児童生徒分のライセンスの無償利用が可能となります。

### 議案第88号 一般会計補正予算（第6号）

物価高騰対策に関する国の交付金を活用し、低所得世帯、私立幼稚園・保育園、高齢者福祉施設などに対する支援や、給食費の保護者負担を抑えるため、市立幼稚園・保育園、小中学校の物価高騰による給食材料費の増加分を公費で負担するための予算補正です（5億2000万円）。

### 発委第2号 市議会委員会条例の一部改正

オンラインを活用した委員会の開催要件を拡充し、育児や介護などのやむを得ない事由を加える改正や、議会における手続きのオンライン化などについて定めるものです。

# 13の視点 一般質問

## 学校体育館に 移動式エアコンの導入を



まつお かずき  
松尾 和樹

**Q** 熱中症が疑われる症状により、児童生徒が救急車で病院へ搬送された件数は令和5年度に5件、6年度に1件起きている。体育館や運動場での活動制限の状況と熱中症対策は。

**A** 学校では日常的にWBG T（暑さ指数）を計測し、28を超えた段階で激しい運動は内容を変更したり、早めに授業を切上げたりする措置を取っている。31を超えた場合は活動を中止し、授業内容を変更している。授業中の水分補給にも配慮し、授業へは水筒を持参し、授業中に給水時間を設け、教員は児童生徒の給水の様子を確認している。

子ども達の命と学びと成長  
の機会を守れるか

**Q** 比較的安価で設置や運用が可能なら、移動式エアコンの導入に向けた本市の見解は。

**A** 体育館への空調設備の整備については、機器の設置、運用に関わるメリットとデメリットのほか、補助金の有無や費用対効果など様々な点を比較検討した上で最善の方法を見極める必要がある。移動式エアコンは実態が分からない点もあるため、今後比較していく。



移動式エアコン活用例  
(須坂市北部体育館)

## 市民参画と協働の まちづくり条例のあり方は



たがみ もとかず  
田上 元一

**Q** 本条例の施行から約20年経過したが、これまでの成果と評価は。

**A** まちづくり活動の面では条例の理念が地域に着実に受け継がれていること、土地利用誘導の面では開発協議が事業者に浸透していることなど条例全体として十分な効果があったと評価している。

**Q** 今後の本条例のあり方についての市の考えは。

**A** ここ数年間まちづくり活動の事例がないことから地域の要請にそぐわなくなっている部分もあると感じている。地域の思いを汲み取り、時代に合った仕組みを整えていくことが必要である。今後のま

ちづくり活動については、市自治連絡協議会に立ちあげられた検討委員会での議論などを踏まえ、制度変更の必要性を見出した際には条例のあり方も検討していく。

**Q** 持続可能な地域活動の実現に向け、市がより積極的に地域に関わっていくべきではないか。

**A** 地区センター、連絡所が地域との連絡調整を担っているため、まちづくりの方向性も見極めながら地域との関わり方も今後議論していく。



まちづくり条例の市ガイドブック



YouTubeで一般質問の様子を配信しています。※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。



# 13の視点 一般質問

## おくやみ窓口 県内の設置状況の推移は



のろ かずひさ  
野呂 和久

**Q** 令和3年9月定例会で

おくやみ手続きのワンストップ窓口について質問した際は、「岐阜県下で4市がおくやみ窓口を設置している」との答弁であった。その後、設置自治体数や窓口対応に変化はあるか。

**A** 県内21市のうち8市がおくやみ手続きのワンストップ窓口を設置した。いずれも死亡に伴う基本的な手続きが対象で、全ての手続きをワンストップで完結できるものではないが、6市では担当課の職員が入れ替わり、担当業務の手続きを受け付ける体制を取っている。

本市もおくやみ手続きの窓口設置を

**Q** 希望する遺族の意思により、予約制でおくやみ手続きをワンストップで行える窓口を設置する考えはないか。

**A** 本市では高齢等の理由で各課での手続きが困難な場合など、状況に応じて担当職員が窓口に向く対応や、市内連絡所では死亡に伴う手続きが行える体制も整えている。今後もこの対応を継続しつつ、わかりやすく丁寧な案内と説明を心がけていく。



各担当課の職員が  
入れ替わり対応する関市

## アントレプレナーシップ 教育の導入は



わたなべ ひとみ  
渡辺 仁美

**Q** 様々な困難や変化に対し、他者と協働しながら新たな価値を生み出す発想や思考を育むアントレプレナーシップについて、どう考えるか。

**A** アントレプレナーシップ教育で求められる資質・能力は、市教育大綱の目標の一つである「夢に向かってチャレンジできるたくましい力」につながると考える。

### アントレプレナーシップの 醸成を

**Q** アントレプレナーシップを教育事業に導入することへの本市の見解は。

**A** アントレプレナーシップの理念は、市の教育大綱と教育振興基本計画の理念に通じる。アントレプレナーシップ

を新たに教育事業へ導入するというのではなく、例えば同計画に位置付けられているキャリア教育を推進することが、アントレプレナーシップの理念の実現につながると考える。

本市ではキャリア教育を通して、夢の実現に向けて自らの考えを持ち、創造力を発揮して「夢に向かってチャレンジできるたくましい力」の育成を図っている。



職業体験等のキャリア教育で  
チャレンジ力を

# 13の視点 一般質問

## ICT教育を どう進めていくのか



とみだ まきこ  
富田 牧子

**Q** 教育DXが先行していた  
スウェーデンでは、2024  
年から再び紙の教科書と鉛筆  
での手書きを重視する教育に  
戻った。タブレットへの依存  
が子ども達の学力低下や成長  
発達によくない影響を及ぼし  
たという。本市で進めるICT  
教育による学力等への影響  
は。

**A** 本市では、教材・教具や  
学習ツールの一つとしてICT  
Tを活用している。全国学力・  
学習状況調査の結果に変動は  
あるが、タブレット活用によ  
る影響かは現時点ではわか  
らない。

デジタル教科書で  
学ぶ意欲を高められるか

**Q** 令和5年の教育に関する  
アンケートでは、子どもの学

ぶ意欲を高める指導や心の教  
育の充実を望む保護者の声  
が多かった。デジタル教科書  
の使用でこうした声に応えて  
けるのか。

**A** デジタル教科書は、写真  
資料やグラフなどの細かい部  
分を拡大できて調べやすい、  
自分の考えを可視化して仲間  
と共有できるなどのメリット  
があり、子どもの意欲を高め  
ることができると。心の教育  
の充実については、豊かな体  
験活動と道徳の意図的・計画的  
な実施により推進している。



ICT活用を進める  
可児市教育振興基本計画

## 農業集落排水事業の 今後の整備の方向性は



さこう さやか  
酒向 さやか

**Q** 農業集落排水事業で、接  
続件数の上限により新規接続  
できない要因と地域の実情は。

**A** 本事業は計画時に家が建  
っている集落を処理区域と定  
めて、処理場の能力を決定し  
ているため、区域内家屋の接  
続は可能だが、田畑等の宅地  
化による区域外からの流入は  
計画に見込んでいない。現在、  
接続率約98%と多くの方が利  
用されており、区域内の方が  
区域外へ転出する場合や、子  
ども世帯が家を建てる新築な  
どの場合を除き、区域外流入  
はお断りしている状況である。

**Q** 施設の老朽化を踏まえた  
今後の整備の方向性は。

**A** 点検、修繕により施設の  
状態を管理しながら長寿命化  
による維持管理コスト削減に  
取り組んでおり、施設改修計

子どもや若者の声を市政に

**Q** 子どもや若者の意見聴取  
にどう取り組むか。

**A** 市内小中学校での市長の  
出前講座や子どもと接する団  
体への支援等の中で直接・間  
接的に子どもの声を聴く機会  
を設けてきている。今後も  
様々な事例等を参考にし、取  
組みを着実に積み重ねる。



矢戸川浄化センターと横市川浄化  
センター

# 13の視点 一般質問

## 児童生徒用タブレット端末の適正な処分を



やまだ よしひろ  
山田 喜弘

**Q** GIGAスクール構想第一期で整備したタブレット端末の適切な処分、データ消去とその費用をどうするのか。

**A** 処分事業者は、回収から再資源化や再使用に至るまで情報漏洩対策を講じるなど5項目の契約条件を付け、入札の準備を進めている。費用は令和7年度から5年間のリース契約に含めることとした。

**Q** アカウントの引継ぎは。  
**A** 蓄積した学習データの重要性を考慮し、令和6年度から教育用アカウントであるMicrosoftアカウントを小学校から中学校へ引き継ぐようにした。

大学生のユーザーン支援を

**Q** 地方就職学生支援事業の取組みは。

**A** この支援事業は、東京圏の学生に対し地方へ就職活動する際の交通費を支援する国の新たな事業である。本市では学生の就職活動に係る交通費上限1万1千円を支援すること、東京圏からの就職を契機とした移住や中小企業の人材確保に少しでも寄与できるように、令和6年10月からこの事業を実施している。



更新時期を迎える小中学校のタブレット端末

## 第50回衆議院議員総選挙の検証は



いたず ひろき  
板津 博之

**Q** 令和6年10月27日に執行された衆議院議員総選挙での期日前投票率は。また、投票所入場券の発送遅延などのトラブルはなかったか。

**A** 期日前投票者数は1万5248人で、令和3年と比較すると871人の減、率にして5・4%の減であった。全体の投票者数に対する期日前投票者数の割合は35・2%であった。また、今回の選挙は解散から公示日までの期間が短く、通常の選挙と比べて投票所入場券の到達が遅れたことから、まだ入場券が届かないといった問合せや苦情が多くあり、対応に苦慮したということはあった。

防災行政無線のデジタル化は

**Q** 令和6年度と7年度予算で防災行政無線をデジタル化する計画だが、運用開始はいつ頃か。

**A** デジタル化への更新工事は順次進めており、全ての工事が完了するまではデジタル方式とアナログ方式を併用していく。

全面的な運用開始時期は令和8年3月末の見込みである。



第50回衆議院議員総選挙の投票済証  
(可児市選挙管理委員会)

# 13の視点 一般質問

## バリアフリーマップの作成を



たぐち ともかず  
山口 豊和

**Q** 市内には身体的な障がいを持つ人にとって移動が困難な道が多くあるが、全ての道路を即座に整備することは困難である。そのため安全な道路状況や各施設のバリアフリーの情報をわかりやすく提供することが必要である。

**国**は「みんなで作るバリアフリーマップ作成マニュアル」を示しているが、高齢者や障がいのある人にとって心強いツールとなる「バリアフリーマップ」の作成を検討したことはあるか。

**A** 本市は公共交通機関が発達した都市部とは異なり、車での移動が主な手段であることから、道路に関するバリアフリーマップのニーズが少ないと考えられ、これまで検討に至っておらず、現時点での

作成予定はない。  
行政はどんな協力ができるか

**Q** バリアフリーマップを市民が主体となって作成する場合、市はどんな協力ができるか。

**A** 庁内関係部署と連携し、道路管理者としてまち歩き等の現地確認への同行や、作成されたマップの効果・ニーズを確認しながら、周知にも協力できると考える。



バリアフリーマップ作成マニュアル  
(国土交通省ウェブサイト)

## 小中学校の体育館に空調設備の設置を



いとう けんじ  
伊藤 健二

**Q** 気象が極端化して、4月から11月まで夏が続いた。夏休み期間以外でも熱中症対策が必要だ。学校体育館に冷房装置を設置する方針を明確にして、本格的に検討すべき時ではないか。

**A** 教育環境改善のために設置を進めたいが、財政面等から計画にない工事を早急に行うことは困難である。令和7年度に学校施設の個別施設計画全体を見直す予定のため、学校体育館の空調設備設置についてはその中で検討したい。

有効期限までは現在の被保険者証を、期限後は資格情報のお知らせをマイナ保険証とセットで持つことを周知している。要配慮者やマイナ保険証を紛失した場合等は、本人が関係者から保険者に申請して頂くことにより国保被保険者証に替わる資格確認書を交付する。本市の国保被保険者証の有効期限が切れる際は、プッシュ型で全員に資格確認書又は資格情報のお知らせを交付する。保険医療を受ける仕組みは基本的には変わらない。

### マイナ保険証利用と資格確認

**Q** マイナ保険証の利用登録の推奨で何が変わるのか。

**A** 今の被保険者証からマイナ保険証に変わるため、国は



資格確認書(見本)

# 13の視点 一般質問

## 庁舎内でのハラスメントの現状は



かわかみ ふみひろ  
川上 文浩

**Q** 庁舎内でのハラスメント相談件数は。

**A** ハラスメントに類する要素が含まれる相談は令和4年度は2件、令和5年度は6件だった。

**Q** ハラスメント対策は。

**A** 現在、ハラスメント予防・対応マニュアルを運用しており、毎年度初めに職員掲示板等でマニュアルの運用を徹底するとともに、人事課や衛生管理者、ハート相談室などの相談窓口の紹介を行っている。また令和5年12月からは、会計年度任用職員を含む全職員が職員パソコンや各自のスマートフォンから気軽にハラスメントに関する相談ができるように、常設型の相談フォームを設置した。

## カスタハラ防止への対応は



かわかみ ふみひろ  
川上 文浩

**Q** カスタマーハラスメントの現状は。防止条例を制定する必要があるか。

**A** 全職員対象のアンケートで回答した職員の内、48.9%が迷惑行為や悪質クレーム等のカスタハラを受けていた。職員が欠け市民サービスの停滞に繋がらないよう、新たな基本方針に基づいた対策に取り組む。防止条例は、本アンケートでも制定を望む声があるため今後検討していく。



カスタハラ対策啓発ポスター  
(厚生労働省ウェブサイト)

## 災害時の代替給水の取組みは



おおひら しんじ  
大平 伸二

**Q** 市地域防災計画において災害時の代替給水となる湧き水、井戸水等の把握は自治会・自主防災組織の課題とされているが、市として把握はしているか。自治会、自主防災組織で管理する際の水質検査等の補助制度はあるか。

**A** 発災時の「公助」には限界があるため「自助」「共助」の取組みが必要不可欠である。同計画において代替給水は自治会・自主防災組織が地域内で共助により取り組むことと位置付けているため、市として把握はしていない。

災害時の利用を目的として行う水質検査は地域防災力向上事業補助金の対象となる。避難所生活での生活用水の確保に向けて

**Q** 民間井戸の活用と利用計画はあるか。

**A** 「公助」による位置付けとして、民間井戸の活用は考えていない。国は指定避難所での生活用水の確保に向け、計画の改正やガイドラインの策定に取り組んでいる。今後、国や県が示す計画を参考とし、地域の実情も踏まえて、地域防災計画を見直す中で検討していく。



災害時の代替給水になる湧き水  
(今渡地内)

# 13の視点 一般質問

## 広域防災拠点を想定した整備とは



たかぎまさのぶ 高木 将延

**Q** 再整備が進められている市運動公園は、大規模災害時には広域防災拠点となる。どのような使用を想定して整備されているのか。

**A** 新設の西ゾーンに整備する駐車場や多目的広場は、自衛隊、消防、警察の救助救援・復旧の前線基地やヘリポート等として使用する。多目的グラウンドとして人工芝舗装等の整備をしている東ゾーンは、車両搬入路を設け、救援物資の集積や配送拠点とする。

既設のカヤバスタジアムやテニスコートは、現地本部、救護所、医療支援機能、ボランティア等の活動拠点としての使用を想定している。

広域防災に関する  
市民周知は



広域支援拠点として利用された運動公園(遠野市)

**A** 国や県から広域防災合同訓練の要請があれば、関係機関と協議し対応する。市運動公園が、広域での受援・支援体制両面の役割を担っていることを現地に掲示するとともに、案内リーフレットにも掲載し周知を図っていく。

**Q** 東日本大震災で広域支援を行った若手県遠野市では、自衛隊等と連携した大規模訓練の実施もあり、広域防災への市民理解度が高い。今後、市民周知をどのように行うのか。

### 市議会主催

## 「防災DXの最前線とこれからの展開」 どなたも参加OK! 皆さんも防災について学びませんか?

市議会主催で議員研修会を開催します。  
公開講座のため、どなたでも参加できます。

災害現場では、状況把握や意思決定などを行うために「情報」が不可欠です。能登半島地震では、国、地方自治体、民間などの各組織が情報を共有し、支援にあたりました。

本研修では、実例を踏まえて防災DXの最前線を学びます。  
ぜひご参加ください。事前申込は不要です。

**日時** 令和7年2月17日(月曜日)  
午後2時00分から(2時間程度)  
※午後1時30分開場

**場所** 可児市文化創造センター ala  
映像シアター  
(可児市下恵土3433番地139)



### 講師紹介



臼田 裕一郎 氏  
(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域長・総合防災情報センター長)

防災情報に関する研究開発や官民連携での防災DXの推進などに努められています。

# 市民フリースピーチ & 市民と議員の懇談会

(議会報告会)

フリースピーチ  
初開催!

議会では、3月定例会で令和7年度の当初予算案について審議します。  
今回、市民の皆さんのご意見をお聴きし、予算審議や今後の委員会活動等に生かすための懇談会を行います。市民によるフリースピーチを聴いた後、参加したいテーマに分かれて気軽に議員とお話いただけます。ぜひご参加ください!

日時 2月15日(土) 午後2時～4時

場所 市役所5階 議会フロア

## 第1部

～ 議場で語ろう～  
初! 市民フリースピーチ

### フリースピーチとは?

可児市をよりよくするには? もっとこうしたら…  
普段思っていることはありませんか?  
あなたの意見を自由に発言してください。

議員や懇談会に参加される市民の方が、あなたの熱い思いをお聴きします。

スピーチの内容は、担当の常任委員会などで協議・対応を検討します。

- スピーチ内容 可児市を良くするアイデア 等
- 会場 市役所 議場
- 対象者 市内在住、在勤、在学の方
- 募集人数 4人
- 発言時間 5分以内
- 申込方法(次のいずれか)
  - ・議会ホームページか議会事務局窓口にある「申込書」を下記の申込先に提出する。
  - ・二次元バーコードを読み取り、Webフォームにて申し込む。
- 申込締切 2月7日(金) 午後5時

※申込者多数の場合は、審査の上決定します。また、申込書に記載の発言内容によっては参加を許可しかねる場合があります。



申込Webフォーム

## 第2部

～ 議員と語ろう～  
気になるテーマでの懇談

第1部のスピーチ(40分程度)を聴いた後、各常任委員会が設定した3つのテーマに分かれて懇談します。

※どのテーマに参加されるかは受付時に確認させていただきます。

- 会場 市役所 5階会議室
- テーマ

- ① 災害から家族と地域を守る! 市民防災の力
- ② 脱炭素に向けて私達ができること
- ③ 子どものための多様な居場所づくりを

### 【お願い】

- ・午後1時50分までにお越しください。  
※市役所東口からお入りいただけます。
- ・事前申込がなくても参加できますが、おおよその人数把握のため、Eメールやお電話等で参加希望の旨(お名前と参加希望のテーマ)をお知らせいただくと助かります。
- ・第1部の市民フリースピーチを聴いていただいた後に、懇談となります。
- ・当日の様子は議会広報紙等で紹介させていただきます。
- ・報道機関の取材が入ることがあります。



【問い合わせ・申し込み先】 可児市議会事務局 議会総務課

TEL 0574-62-1111 (内線3502) FAX 0574-63-3972 Eメール gikai-jimu@city.kani.lg.jp

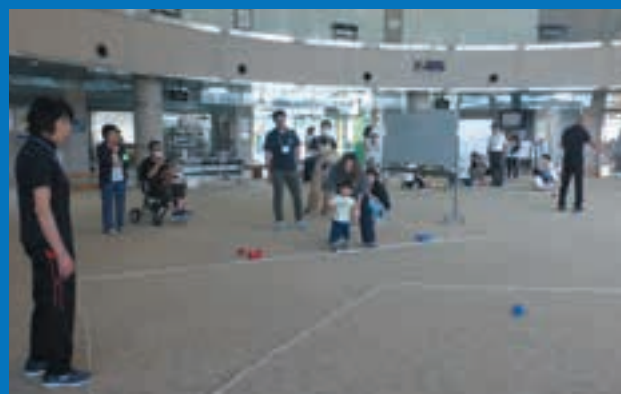
# チョット おじゃまします

## 軽スポーツで地域の元気づくり シリーズ2

「軽スポーツ」とは、一般的なスポーツに比べて体にあまり負担がかからず、気軽に誰もが楽しめるスポーツのことです。軽スポーツを通して地域の元気を探るシリーズ 第2弾は「ポッチャ」です！  
**●ポッチャとは…**赤・青色のそれぞれ6つのボールを投げたり転がしたりして、目標とされる白いボールに、いかに近付けられるかを競う誰でも楽しめるスポーツです！

議会広報部会員の天羽議員、富田議員、田口議員が「広見・中恵土乳幼児学級」におじゃましました。普段は、広見地区センターで年間10回ほど親子で活動されています。今回は、「ポッチャ」で親子交流するという情報をキャッチしたため、皆さんと一緒に楽しくプレーしながらお話を伺いました。  
 ※文中で広報部会員は（広）、乳幼児学級の皆さんは（学）、託児サポーターさんは（サ）としています。

- 広：この乳幼児学級では普段どんなことをしていますか。  
 学：毎月1回、0歳から3歳までのお子さんとその保護者の交流会をしています。うちの子も最初は恥ずかしがっていましたが、同い年くらいの子達と遊べるので、毎回楽しみに来ています。  
 広：今回ポッチャをやると思った理由は何ですか。また、実際やってみてどうでしたか。  
 学：学級活動の年間計画を立てる時に、市職員の方から軽スポーツについて聞いたことがきっかけです。  
 学：ポッチャは小さいお子さんや親子でできるスポーツです。ボールもやわらかいので安心して参加できました。



みんなで楽しくポッチャ体験

- 広：今後は、乳幼児学級でどんな交流をする予定ですか。  
 学：乳幼児ができる種目での運動会を皆で考えているところなんです。  
 広：今日の軽スポーツが参考になりそうですね。市の子育て環境はどうですか。  
 学：保育園に通う前の小さいうちにお友達をつくれる場所が広がるといいなと思います。いつも見守ってくださる託児サポーターさんにはとても感謝しています。  
 サ：小さいお子さんと触れ合えるこの仕事は私の生きがいになっています。これからも支援していきたいです。

### 令和7年第1回定例会のお知らせ

2月	
25日	開会日（議案説明）
25日、26日	予算決算委員会
3月	
5日、6日	一般質問・議案質疑
11日	予算決算委員会・総務企画委員会
12日	予算決算委員会・建設市民委員会
13日	予算決算委員会・教育福祉委員会
14日	予算決算委員会
24日	閉会日（委員長報告・討論・採決）

※会議は午前9時開会の予定です。  
 ※日程は、都合により変更する場合があります。

### 議会活動を見て・知って

ケーブルテレビ可児やSNSなどで議会の活動をお知らせしています。  
**FMららのポッドキャスト**では、過去の放送も聴くことができますので、ぜひ聴いてみてください。

